2026年11月25日

関 係 各 位

野村アセットマネジメント株式会社

「PRIDE指標2026」において最高位「ゴールド」を5年連続で受賞

野村アセットマネジメント株式会社（CEO兼代表取締役社長:大越昇一、以下「当社」）は、職場におけるLGBTQ+への取組みの評価指標である「PRIDE指標2026」において、5年連続で最高位の「ゴールド」を受賞しました。

PRIDE指標は、職場におけるLGBTQ+などの性的マイノリティへの取組みの評価指標として、2016年に日本で初めて策定されました※。評価指標は5つあり、当社はすべての項目で基準を満たすと評価されました。

＜評価項目となる5つの指標＞
Policy（行動宣言）
Representation（当事者コミュニティ）
Inspiration（啓発活動）
Development（人事制度・プログラム）
Engagement/Empowerment（社会貢献・渉外活動）

野村グループでは、「金融資本市場の力で、世界と共に挑戦し、豊かな社会を実現する」というパーパスのもと、ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン（以下「DEI」）の推進を重要な経営戦略の一つと位置付けてさまざまな取組みを行っています。当社では、世の中に浸透してきた DEI からさらに一歩先へ進むため、ビロンギングを追加した「DEI&B」を推進しています。ビロンギングとは、DEI が推進された先に生み出される、社員が尊重され、「自分の個性を活かせる居場所はここにある」と心地よく感じられている状態を指します。当社では、国内全社員を対象とした野村グループ・インクルージョン研修の実施や社員が自発的に活動する DEI 社員ネットワークによる LGBTQ+への理解を深めるための啓発活動の支援、ジェンダーを問わず福利厚生制度を利用できる「パートナーシップ制度」の導入、トランスジェンダーの働き方を支援するガイドラインの作成など、LGBTQ+当事者が自分らしく安心して働くことができる環境の整備を進めてきました。

当社は今後も、LGBTQ+を含む多様なバックグラウンドを持つ社員が安心して最大限の能力を発揮できる健全な職場環境づくりに取り組んでいきます。

※詳細はwork with Prideホームページ「PRIDE指標とは」をご参照ください。https://workwithpride.jp/pride-i/

以 上

野村アセットマネジメント